

IV 生涯学習推進センター 研修講座

■■■ 総合教育センターとの連携講座 ■■■

教員の皆様が、地域の皆様とともに学び、視野を広げ、さらに充実した学校教育活動ができるよう、総合教育センターとの連携講座を 11 講座開設しました。



申込み方法は、以下の表のとおりです。

【公立学校の教員】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申込先 総合教育センター ・ 申込方法 p.4 2 希望研修 (3) 「申込みについて」参照 ・ 問合せ先 総合教育センター 企画調査部 (0263 - 53 - 8802)
【私立学校の教員】	<p>概ね 1 か月前に生涯学習推進センターのホームページに掲載する講座案内 (チラシ) をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込先 生涯学習推進センター ・ 申込方法 生涯学習推進センターのホームページから「ながの電子申請サービス」にアクセスして手続きしてください。なお、FAX、E-mail、郵送で申込み場合は、生涯学習推進センターのホームページに掲載されている申込書をご利用ください。 ・ 問合せ先 生涯学習推進センター (0263 - 53 - 8822)

なお、開始時間は 9 時 45 分となります。

生涯学習推進センター連携講座 地域づくり推進研修									
講座番号・講座名					実施日		内容、連絡等		
3-9-01-01 持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？ ～まちづくりや探究学習が自分事になる講演会の作り方～					6月4日(木)		NPO法人上田市民エネルギーがまちづくり活動として開催している「上田リバース会議」を体験します。持続可能なまちづくりをゼロカーボンの視点から捉え、単なる調べ学習、調べたことの報告会に終わらず、児童・生徒の考えが地域に変化を起し、持続可能なまちづくりへとつながる授業づくりについて学びます。 講義「持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？」 ～上田リバース会議～ 演習「ワーク～できないメソッド～」 講師 NPO法人上田市民エネルギー 理事長 藤川 まゆみ ■持ち物 なし		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
②		⑦							⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	
					幼 小 中 義 高 特 専				
3-9-01-02 地域学校協働活動を核とした地域づくり ～信州の強みである公民館と学校の連携を生かす！～					7月23日(木)		長野県は公民館数が日本一であり、公民館が地域と学校のつながりをコーディネートするケースが多いです。県内の先進的な地域学校協働活動の実践から、公民館と学校の連携を強みとして地域づくり学校づくりを推進している事例から、学校と公民館の具体的な関わり方を学び、様々な立場の方との熟識により更に理解を深めます。 講義「信州の強みである公民館と学校の連携を生かす！」 事例研究「国CS及び信州型CSにおける公民館の役割」 熟識「公民館と学校の連携」 講師 筑波大学人間系教育学域 准教授 丹間 康仁 ■持ち物 なし		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
①	②								⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	
					幼 小 中 義 高 特 専				
3-9-01-03 災害から命を守るために ～地域の支え合いと福祉の力で災害に立ち向かう！～					8月7日(金)		災害が頻発するわが国において、防ぎきれない天災もありますが、的確に避難することができれば犠牲者が出なかったり、人がつながることで復興支援が進んだりする場合があります。能登半島の大規模災害へのボランティア支援を通じた具体的なお話をお聞きし、防災・減災・いざという時の人のつながりについて考えます。 講義「災害から命を守るために～地域の支え合いと福祉の力～」 演習「ハザードマップから災害時に役立つ社会資源を考える」 講師 日本防災士会長野県支部 支部長 大久保 隆志 ■持ち物 なし		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
②		⑤							⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	
					幼 小 中 義 高 特 専				
3-9-01-04 子どもと大人の対話による地域学校協働活動の推進					11月19日(木)		協働活動「いきはたトーク」を学校現場で参観することを通して、直接的な親や教師との関係とは違う「ナナメの関係」による対話の成果を実際の姿から学んだり、この取組を支える「塩尻市共創共学プラットフォーム」と学校の連携を知り、受講者それぞれの立場で自身の地域や学校で生かせることを持ち帰って活用したりして、地域学校協働活動の充実が図れるようにします。 参観「いきはたトーク」(当日までの準備説明を含む) 講義「いきはたトーク」の狙いと実践成果について 講師 NPO法人MEGURU 代表理事 横山 暁一 ■持ち物 上履き		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
②		⑥							⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	
					幼 小 中 義 高 特 専				

生涯学習推進センター連携講座 社会教育推進者育成研修										
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等	
3-9-01-05 自治の土壌を耕す社会教育の担い手論 ～公民館・地域づくりのコミュニティナビゲーター機能とは～					6月23日(火)				各地で自治体の行政基盤に社会教育を据えることや、行政の領域融合、公民館等の多機能化といった新たな動きがみられます。本講座では中央教育審議会等の議論も踏まえ、総合的な地域づくりを支え自治の土壌を耕す「新たな社会教育の担い手」のあり方や、その役割について現場の職員を交え深く考察していきます。 講義「自治の土壌を耕す社会教育の担い手とは」 事例研究(事例発表・全体討議) 「公民館や地域づくりの現場におけるしごとと職員の専門性」 講師 大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授 牧野 篤	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 なし										
3-9-01-06 若者と社会教育 ～信州の事例から見える課題と展望～					12月3日(木)				地域、学校への若者参画が求められています。県内で実践されている若者参画支援の事例、直面する課題を共有します。そして、地域と若者をつなぐ新たな可能性について、学校、公民館をはじめとした、若者と関わりの深い立場の方たちとともに考えます。 講義「若者と社会教育」 講師 文教大学人間科学部 准教授 青山 鉄兵 事例発表(若者の居場所づくり・若者参画サポート) パネルディスカッション「若者の地域参画をどう育む？」 パネリスト 松本市こども若者部若者参画課・CHUKOらんどチノチノ	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					一	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 なし										

生涯学習推進センター連携講座 生涯スポーツ研修										
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等	
3-9-02-01 スポーツ現場における緊急対応 ～指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法～					6月9日(火)				スポーツ現場では不測の事態に備えた危機管理が重要です。目の前で選手が突然倒れた時、すぐに適切な対応ができるでしょうか。本講座では、そうした緊急場面を想定し、応急手当や救急救命法の知識と技術を学び、立場を問わず「いざ」という時に行動できる力を養います。 講義「指導者が身につけておきたい応急手当」 実習「AEDを含む心肺蘇生法(普通救命講習)」 講師 理学療法士「カラダのメンテ」 山本 葵 松本広域消防局 広丘消防署 職員	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 運動着、タオル、飲み物										
3-9-02-02 スポーツのケガや故障予防とコンディショニング ～パフォーマンス向上のために～					6月12日(金)				スポーツ活動のパフォーマンスの低下につながるスポーツ外傷発症に關係する姿勢、柔軟性、筋力、フォームなどの確認や対応策を学ぶことで、現場でのスポーツ選手への対応力が豊かになります。保健体育科の先生、部活動や地域のスポーツ指導者のみならず、児童生徒の健康管理に関わる先生にお勧めです。12月4日の学校体育研修「スポーツによるケガ予防と再発防止のテーピング」も受講することで、さらに学びが深まります。 講師 日本福祉大学 教授 小林 寛和	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					一	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。										
3-9-02-03 スポーツへ応用できる古武術の身体操法 ～様々なスポーツへつながる指導法～					8月27日(木)				古武術をもとにした身体操法から、走る、跳ぶ、投げるなどのパフォーマンス向上のための効果的な動作、理論を学ぶことができます。肩甲骨、仙骨、股関節などの様々な身体の動きについて、体験を通して知ることができ、その効果を実感することができます。 講義・実習「古武術の身体操法についての基礎理解」 「スポーツ活動等での応用」 講師 びわこ成蹊スポーツ大学 教授 高橋 佳三	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。										
3-9-02-04 メンタルトレーニングの理論と実践 ～選手の力を引き出そう～					11月13日(金)				選手や児童生徒が最大限に力を発揮できるよう、メンタルトレーニングの方法を学びます。講義や数多くのワークを通じて、自身の心の状態を考えてみることで、身体に変化が現れ、行動も変わることを実感できます。この研修で得られるスキルは、授業、進路指導、家庭、学級、職場などの場面で活用できますので、部活動や地域のスポーツ指導者に限らず、広く先生方に受講していただきたい講座です。 講師 メンタルトレーナー 加藤 史子	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 Google Formsへの入力可能な端末、筆記用具										
3-9-02-05 現場で使える10代アスリートのスポーツ栄養 ～ベストコンディションの実現～					11月20日(金)				10代アスリートに必要な基礎生活や基礎コンディショニングについて理解を深め、正しい食事の基礎知識やリカバリー、試合前後の食事の摂り方などを学びます。現場へ戻って使える、選手が自らの意志で取り組めるコンディショニングの方法を学びましょう。部活動や地域のスポーツ指導者のみならず、児童生徒の健康管理に関わる先生にお勧めの講座です。 講師 Eコンディショニング 管理栄養士 村越 智行	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					一	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 Google Formsへの入力可能な端末、筆記用具										

■■■ 総合教育センターとの連携講座以外の生涯学習推進センターの講座 ■■■

p. 76～77 の連携講座以外の講座にも参加できます。学校や地域・保護者と連携した幅広い研修ができますので、より多くの教職員の皆様の参加をお待ちしています。各講座の詳しい内容は、概ね1ヶ月前にホームページに掲載する講座案内（チラシ）をご覧ください。

- 申込み・問合せ先 生涯学習推進センター 電話 0263 - 53 - 8822 FAX 0263 - 53 - 8825
- 申込方法 生涯学習推進センターのホームページから「ながの電子申請サービス」にアクセスして手続きしてください。なお、FAX、E-mail、郵送で申込む場合は、生涯学習推進センターのホームページに掲載されている申込書をご利用ください。
- 会場 会場の記載のない講座は、生涯学習推進センター（総合教育センター内）
- 開催時間 講座案内（チラシ）をご覧ください。
- 持ち物 特に記載のない場合はありません。

HPは「チラシ」



生涯学習推進センター講座		実施日	研修の概要・連絡等
地域づくり推進研修 センター講座	持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？ ～まちづくりや探究学習が自分事になる 講演会の作り方～	6月4日(木) 後日アーカイブ 配信あり	NPO法人上田市民エネルギーがまちづくり活動として開催している「上田リバース会議」を体験します。持続可能なまちづくりをゼロカーボンの視点から捉え、講演会を単なる情報提供で終わらせず地域に変化を起こす企画・運営のポイントを学びます。参加者は、講演会後に地域で実践できる具体的な手法を習得します。 講義「持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？」 ～上田リバース会議～ 演習「ワーク～できないメソッド～」 講師 NPO法人上田市民エネルギー 理事長 藤川 まゆみ
	募集定員 30名		
	地域学校協働活動を核とした地域づくり ～信州の強みである 公民館と学校の連携を生かす！～	7月23日(木) ハイブリッド研修	長野県は公民館数が日本一であり、公民館が地域と学校のつながりをコーディネートするケースが多いです。県内の先進的な地域学校協働活動の実践から、公民館と学校の連携を強みとして地域づくり学校づくりを推進している事例から、学校と公民館の具体的な関わり方を学び、様々な立場の方との熟議により更に理解を深めます。 講義「信州の強みである公民館と学校の連携を生かす！」 事例研究①「コミュニティ・スクールにおける公民館の役割」 ②「公民館がコーディネーターとなる強みを生かす」 熟議「公民館と学校の連携」 講師 筑波大学人間系教育学域 准教授 丹間 康仁
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
	障がいの有無に関わらず共に学び、楽しむ日常を ～社会的障壁体験を通して 『わかる』から『かわる』～	8月4日(火)	この講座では社会的障壁体験を通して、障がいにより制限を受けたときの当事者の思い、どんな手助けを求めたくなるかなどを理解して、必要な支援のもとに同じ社会に生きる仲間として関わり合う楽しさを学びます。そして、公民館や学校等の活動における具体的な支援のヒントを持ち帰り、実践につなげます。 講義・演習「わかる ことは かわる こと～社会的障壁体験～」 聴覚・視覚障壁体験・肢体不自由・発達障がい体験等 講師 長野メディアエーション研究所 代表 依田 哲郎
募集定員 20名			
災害から命を守るために ～地域の支え合いと福祉の力で災害に立ち向かう～	8月7日(金)	災害が頻発するわが国において、防ぎきれない天災もありますが、的確に避難することができれば犠牲者が出なかったり、人がつながることで復興支援が進んだりする場合があります。能登半島の大規模災害へのボランティア支援を通じた具体的なお話をお聞きし、防災・減災・いざという時の人のつながりについて考えます。 講義「災害から命を守るために～地域の支え合いと福祉の力～」 演習「ハザードマップから災害時に役立つ社会資源を考える」 講師 日本防災士会長野県支部 支部長 大久保 隆志	
募集定員 30名			
地域コミュニティをどうつくっていくか ～まちづくり・都市計画と 社会教育・公民館を重ねて考えるために～	8月28日(金) ハイブリッド研修	過去2年に開催した講座「地域社会のつくり方」、「地域社会を変えるには」を踏まえ、住民主体の地域づくりをさらに深掘りしていきます。3年目となる今年は、新たに都市計画・まちづくりの視点を導入し、計画的なハード整備を含めて暮らしや自治について捉え直し、ソフトとハードが融合した地域づくりを考えます。 講義「都市計画と住民主体のまちづくり」 講師 東京理科大学経営学部 講師 似内 遼一 対談 似内 遼一 × 荻野 亮吾 (日本女子大学准教授)	
募集定員 会場30名 オンライン30名			

生涯学習
推進センター

生涯学習推進センター講座			
講座名	実施日	研修の概要・連絡等	
センター研修	地域福祉と社会教育・公民館 ～信州での具体的な連携事例をもとに考える～	9月16日(水) ハイブリッド研修	人口減少や高齢化が進むなか、地域コミュニティの持続可能性が問われています。本講座では社会教育をベースに「地域共生社会」の構築を目指すため、福祉現場の現状と課題を整理し、公民館と社会福祉協議会が連携した先進事例を学び、住民自治と暮らしを支えるこれからの地域づくりのあり方を共に考えていきます。 講義「地域共生社会の現状と課題」 講師 松本大学総合経営学部 教授 尻無浜 博幸 事例研究「地域福祉と社会教育・公民館との連携について」 事例発表① 長野県社会福祉協議会 高橋 つぐみ 事例発表② 塩尻市地域共生推進課 安藤 寿秀
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
センター研修	自閉スペクトラム症のある方の ライフステージにわたる支援を考える ～さまざまな自立の形をイメージして～	9月28日(月) (午後半日開催) 後日アーカイブ 配信あり	発達障がいのある人に対し、成人期までの様々なライフステージでどのような育てかたや支援をしていくことが望ましいのか、自閉スペクトラム症のある人に焦点をあててお話しいただきます。そして、一人一人の個性を大切にすることについて考えます。 講義「自閉スペクトラム症のある方の、ライフステージにわたる支援を考える～さまざまな自立の形をイメージして～」 講師 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 特任助教 新美 妙美
	募集定員 50名		
地域づくり推進研修	まちづくり講座 飯綱町の未来をつなぐ場所 ～廃校活用と地域交流～	10月16日(金) いづなコネクト WEST・EAST	全国各地で廃校が増えるなか、飯綱町では、廃校した小学校を活用し、「いづなコネクトWEST・EAST」をつくり、人や未来をつないでいます。いづなコネクトの取り組みを通して、廃校がどのように地域の交流拠点として活用されているのか、また、そこから生まれる人のつながりや新しい活動について楽しく学びます。 講義「いづなコネクトに込めた住民と町(公民館)の思い」 講師 飯綱町役場企画課地域振興係 係長 原田 大 いづなコネクトWEST・EASTの見学 ワークショップ「わたしたちの地域でできること～いづなコネクトをヒントに～」
	募集定員 20名		
県内各地の移動講座	子どもと大人の対話による 地域学校協働活動の推進	11月19日(木) 塩尻市立丘中学校 (午後半日開催)	協働活動「いきはたトーク」を学校現場で参観することを通して、直接的な親や教師との関係とは違う「ナナメの関係」による対話の成果を実際の姿から学んだり、この取組を支える「塩尻市共創共学プラットフォーム」と学校の連携を知り、受講者それぞれの立場で自身の地域や学校で生かせることを持ち帰って活用したりして、地域学校協働活動の充実が図れるようにします。 参観「いきはたトーク」(当日までの準備説明を含む) 講義「いきはたトーク」の狙いと実践成果について 講師 NPO法人MEGURU 代表理事 横山 暁一 塩尻市立丘中学校「いきはたトーク」前年度担当者
	募集定員 30名		
県内各地の移動講座	男女共同参画による地域づくり ～多様性に満ちた社会の可能性と未来～	2月開催予定 後日アーカイブ 配信あり	地域において、地区役員のなり手不足が課題となっています。これは氷山の一角であり、地区の役員をはじめ、地域づくりをリードする立場に、昔から変わらぬ顔ぶれが並んでいることに驚きます。新しい発想、母親視点の工夫、若者視点による定住したくなるまち等、多様な視点、多様な価値観でつくる地域に未来はあると思います。多様な人の活躍により推進する地域づくりについて、考えましょう。 講義「多様性に満ちた社会の可能性と未来(仮題)」 講師 長野県男女共同参画センター職員 県下各地で活躍する様々なお立場の方による対談
	募集定員 30名		
県内各地の移動講座	「地域づくり」及び「子育て支援」に関する講座 各地域で地域づくりを推進する生涯学習実践者を対象とした講座や、子どもや若者、家庭に対して地域ができる子育て支援について考える講座です。	各会場の内容・参加対象についての詳細を、開催1カ月前までにホームページに掲載します。	安曇野市(安曇野市公民館大会) 5月24日(日) 講師 長野大学 教授 早坂 淳 木祖村 5月28日(木) 講師 松本大学 教授 白戸 洋 小諸市(小諸市人権同和教育研究講座) 6月13日(土) 講師 長野大学 教授 早坂 淳 松本市 8月27日(木) 講師 日本女子大学 准教授 荻野亮吾 南信教育事務所(地域連携協働フォーラム) 8月27日(木) 講師 文科省CSマイスター 猿渡 智衛 佐久徳町(人権同和教育講座) 10月25日(日) 講師 長野大学 教授 早坂 淳
	募集定員 会場による		
センター研修	自治の土壌を耕す社会教育の担い手論 ～公民館・地域づくりの コミュニティナビゲーター機能とは～	6月23日(火) ハイブリッド研修	各地で自治体の行政基盤に社会教育を据えることや、行政の領域融合、公民館等の多機能化といった新たな動きがみられます。本講座では中央教育審議会等の議論も踏まえ、総合的な地域づくりを支え自治の土壌を耕す「新たな社会教育の担い手」のあり方や、その役割について現場の職員を交え深く考察していきます。 講義「自治の土壌を耕す社会教育の担い手とは」 事例研究(事例発表・全体討議) 「公民館や地域づくりの現場におけるしごとと職員の専門性」 講師 大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授 牧野 篤
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
センター研修	公民館的な手法で進める まちづくり・地域づくり2 ～学校との連携と地域人教育～	10月26日(月) ハイブリッド研修	飯田市と松本大学、飯田OIDE長姫高校が2012年から取り組む「地域人教育」は、高校生が地域への理解を深め、将来の生き方や地域貢献を考えるもので、これには市の公民館が深く関わっているのが特徴です。本講座は、10年以上の取り組みから見えてきた教育的意義や成果、高校生と地域との関わり、公民館の役割等について学んでいきます。 講義「高大連携、地域人教育とは何か」 講師 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授 白戸 洋 事例研究「飯田市における地域人教育」
	募集定員 会場30名 オンライン30名		

生涯学習推進センター講座			
講座名	実施日	研修の概要・連絡等	
センター研修	AI時代の人や地域のあり方 ～みんなで考えよう長野県の可能性～	11月5日(木) ハイブリッド研修	AI技術が社会のあらゆる側面に浸透し、人間や地域社会が、AIを「パートナー」として活用しています。この講座では、様々な事例を通してAIとの共存を模索します。その上で、AIを通して効率化されていく現代だからこそ、人や地域はどのように変わっていったのか、長野県の地域資源やコミュニティの現状を踏まえて考えます。 講義「今さら聞けないAI～みんなで考えようAIの今～」 演習「AI時代の人や地域のあり方～みんなで考えよう長野県の可能性～」 講師 長野大学社会福祉学部 教授 早坂 淳
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
センター研修	若者と社会教育 ～信州の事例から見える課題と展望～	12月3日(木) ハイブリッド研修	地域、学校への若者参画が求められています。県内で実践されている若者参画支援の事例、直面する課題を共有します。そして、地域と若者をつなぐ新たな可能性について、学校、公民館をはじめとした、若者と関わりの深い立場の方たちとともに考えます。 講義「若者と社会教育」 講師 文教大学人間科学部 准教授 青山 鉄兵 事例発表(若者の居場所づくり・若者参画サポート) パネルディスカッション「若者の地域参画をどう育む? 信州の事例から見える課題と展望」 パネリスト 松本市こども若者部若者参画課・CHUKOらんどチノチノ
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
公民館を現地で学ぶ講座	公民館と学校が連携した 子ども向け公民館講座の可能性	7月29日(水) 東御市立田中小学校	令和4年度公民館活動アワードを受賞された東御市中央公民館の活動から現地で学びます。子ども講座、親子講座の企画運営を、「学校と連携」「子ども目線・親目線」を視点に行うと、どんな工夫ができるのか、「小学校出前講座」や「夜間親子講座」の実践紹介、講座体験から考え合います。 講義・意見交換「地域における子どもや親子の学びを支える公民館講座のあり方」 講師 東御市公民館長 原澤 利明 受講者と一緒に講座体験(理科の講座を予定)
	募集定員 30名		
公民館を現地で学ぶ講座	多世代がつながり利用する公民館 ～つながる学びと憩いの場～	12月7日(月) 松川村公民館	松川村公民館は、世代を超えて学び合い交流する場を提供します。公民館講座では、郷土文化や生活の知恵、デジタルスキルなどを学びながら地域の絆を深めます。さらに、子ども食堂や高齢者カフェを通じて、食を通じた温かな交流の場をつくり出します。「学び」「食」「つながり」をキーワードに、誰もが安心して集える居場所を目指します。 講義「松川村の公民館活動について」 講師 松川村公民館長 山田 渡 周辺施設見学 高齢者カフェ見学
	募集定員 20名		
県内各地の移動講座	公民館支援講座(移動講座) 公民館の職員として知っておきたい基礎的な知識や、地域づくりを推進する中心的な役割を担う公民館職員の意識の高揚を図る講座です。	各会場の内容・参加対象についての詳細を、開催1カ月前までにホームページに掲載します。	安曇野市(豊科地域 地区公民館役員研修会) 4月11日(土) 講師 当センター公民館支援専門員 下伊那郡町村公民館運営協議会 4月17日(金) 講師 大正大学地域創生学部教授 牧野 篤 塩尻市(塩尻市公民館研究集会) 5月31日(日) 講師 当センター公民館支援専門員 安曇野市(堀金公民館関係者研修会) 6月14日(日) 講師 当センター公民館支援専門員 東信公民館運営協議会 11月13日(金) 講師 当センター公民館支援専門員
	募集定員 会場による		
施設開放講座	天体観測と星空こども食堂 ～みんなで楽しく星を学ぼう～	10月10日(土)	普段体験することのできない50cm大望遠鏡での天体観測や、塩尻星の会のみなさんからの星空解説、こども食堂のみなさんの絵本の読み聞かせや紙芝居など、楽しみながら星空について学習する機会とします。天候が良い場合は、秋の星座や土星のリング(環)等を観測し、天候が悪い場合は、屋内で観測施設の見学や天体クイズなど、星に関する知識を深めます。 子ども食堂開店(子ども食堂の活動紹介・紙芝居・軽食提供等) この日の星空の解説 天体観測(天体観測室・センター屋上) 講師 塩尻星の会の皆様・総合教育センター専門主事
	募集定員 60名		